

新年名刺交換会における岸野駐エチオピア日本国大使挨拶

2012.01.15



新しい年を迎え、皆さんの多くは、今年こそ平和で安定した、そして家族全員が元気で安心して過ごせる一年となることを願っておられることと思います。私も全く同じ気持ちであります。

振り返れば、昨年は、日本にとって余りにも悲しく、厳しい年でありました。3月11日の東日本大震災の記憶は今なお生々しく残っています。津波で家屋や車両が押し流される映像を見る度に今でも心が痛みます。この日の記憶が我々の脳裏から消えることは決してないでしょう。この地震・津波によって、2万人近い貴い生命が失われました。またインフラや生活基盤に計り知れない大きな損害を被りました。今なお生活基盤を再建できず、困っている人も少なくありません。基本的なインフラの復旧は比較的早く進みましたが、末端に至るまでの復興への道のりは余りにも長いと言わざるをえません。また、冷温停止を実現したとは言え、福島原子力事故の影響は依然として深刻であります。我々の本国日本は、今この様な厳しい状況に置かれています。従って、ご案内の通り、今年は「新年祝賀会」は行わないこととしました。

然しながら、昨年から始めたこの会が皆さんと一堂に会することのできる唯一の機会であることも確かです。北はメケレから南はドロアドまで、皆さんはこの国の全国各地で活躍されています。その皆さんと是非お会いし、お話を伺い、激励したいとかねがね思っていました。そこで、今年は、「新年名刺交換会」という形で懇親の場を設けさせて頂きました。

趣旨は以上申し上げた通りであります。そこで、最初に、3.11大震災の犠牲者を悼み、被災者に思いを馳せ、そして復興が迅速に進むことを祈念し、一分間の黙祷をささげたいと思います。(黙祷)

有難うございました。ここで少し時間を頂き、皆さんがそれぞれ関わっておられる日本とエチオピアの関係についてお話させて頂きたいと思います。

2011年は、日本とエチオピアの関係にとって、関係推進に弾みをつけた、本当にいい年でした。三段跳びに喩えれば、「ホップ」の年だったと思います。

昨年の今頃、松本外務副大臣(当時)がAU執行理事会出席のため当地に来訪し、ハイレマリアム副首相と外相会談を行いました。その後日本からは、防衛、内閣の副大臣が計三回当地に来訪しています。他方、エチオピアからは、12月に「ハ」副首相やアーメド・シデ財務担当国務相が訪日し、有意義な意見交換を行っています。この様に、両国間の要人往来、政策対話の流れが今正に出来つつあります。今月後半には山根外務副大臣の来訪も予定されています。

経済分野では、昨年3月の経済同友会ミッションの来訪、12月の「八」副首相訪日時の経済界との懇談やビジネスセミナーの開催を通じ、将来の関係強化に向け良いスタートを切ることが出来たと思います。勿論、これが直ちに具体的なビジネスの成約や投資に繋がる訳ではありません。そこに至る道のりが長いことは言うまでもありません。但し、最初の第一歩なくしてはゴールもあり得ないので、まずはきっかけを作ることが出来たこと自体、素直に評価したいと思います。

ODAは皆さんの多くが関わっておられる分野です。この三年間に技術協力が着実に伸び、倍増したことは特筆に値すると思います。エチオピア政府は開発を進めるにあたりノウハウの共有、技術移転を重視しています。技術協力の拡充はこれに応えるものであるので、皆様のご協力を得て、更に伸ばしていきたいと考えています。昨年12月に締結された技術協力協定も追い風になると思います。カイゼンは今や日本の対エチオピア協力の看板プロジェクトになっています。カイゼンが言葉としてこの社会に根付き始めていることは慶ばしい限りであります。

文化・草の根交流でも我々の活動空間は広がってきています。去年は、雛祭り、ジャズ公演に始まり、陶磁器展、和太鼓公演、日本映画祭等多くの文化行事を実施し、両国民の間の文化交流に貢献できたと思います。また、昨日はJapan Festivalが大盛況でした。関係者の皆さんにこの場を借りてお礼申し上げたいと思います。

この様に、これまでの一年間に日エチオピア関係強化のため数々の仕込みを行うことができたと思います。一部は既に芽が出始めています。皆さんの貢献やご協力に感謝しています。既に種は播かれていますので、今年は出てきた芽を大事に育て、大きくし、実らせていくことが肝要です。これが我々に課せられた今年の課題だと考えています。是非、これを皆さんとともに力を合わせ、やっていきたいので、本年も宜しくお願い申し上げます。

また、アジスから遠く離れた地方で活躍されている皆さんにおかれては、当地以上にご苦労が多いかと思います。くれぐれも健康に留意され、引き続きご活躍を期待しています。アジス来訪の際は、是非私共の大使館にもお立ち寄り頂き、担当と情報交換や意見交換を行って頂きたいと思います。

以上が、年頭にあたり、是非皆さんに申し上げたかったことであります。

最後に、3.11大震災の犠牲者を悼み、今年こそ良い年となることを祈念し、献杯したいと思います。(献杯)

有難うございました。それでは、時間の許す限り、ご歓談及びご食事を楽しんで頂きたく、またお互い旧交を温めて頂きたいと思います。